令和6年度新入職員

着任医師　整形外科部長１名、口腔外科部長１名、眼科部長１名、麻酔科医１名、研修医4名、看護師27名、放射線技師1名臨床検査技師1名、事務員9名、総勢46名の新しい職員を迎えました。人生100年時代を迎える中、「ご本人の望む場所で生活できること」「ご本人の望む医療を支えること」など、私たちに“できること”を地域の皆様に還元できるよう、新しい仲間と共に邁進していく1年を目指します。市民の皆様、新しい仲間達をどうぞよろしくお願いいたします。

「あなたは、昏睡状態の患者さんになぜ、言葉をかけますか？」

看護局長の『令和6年度｜看護局方針』の中で倫理についての問い。

「あなたは、昏睡状態の患者さんになぜ、言葉をかけますか？」

新人看護師は「私たちは、患者さんに一番近い存在であり、

私たちの声、手の温もりで患者さんに寄り添うため。」

「患者さんの尊厳」と答えました。

稲沢市民病院ニュース
発行日　令和6年5月8日
発行部数　100部
発行元　稲沢市民病院広報委員会

電話　0587-32-2111
Fax　0587-32-2151
E-mail hospital@city.inazawa.aichi.jp

広報誌バックナンバー

＼稲沢市民病院／
病院 News。
inazawa municipal hospital news
vol.83
2024.April

Advance Care Planning

帰ったら、人生会議はじめよう。

厚生労働省では「人生会議」
（ACP|アドバンス・ケア・プランニング）
の普及・啓発を行っています。
愛知県看護協会・尾張西部地区支部では、
「人生会議」を推奨しています。
今月号は、当院の活動についてお伝えします。

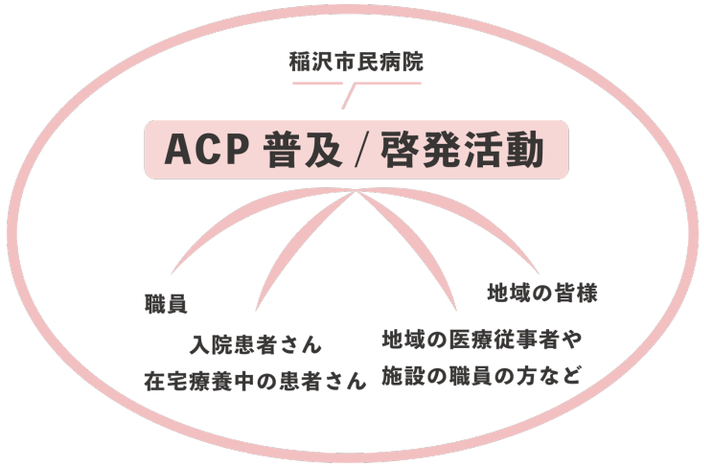
アドバンス・ケア・プランニング（人生会議）

ACP

「あなたが、大切にしていることは何ですか？」
「これだけは、ゆずれないことは何ですか？」

あなたの生き方を決める大切な選択を誰かに伝えたことはありますか？

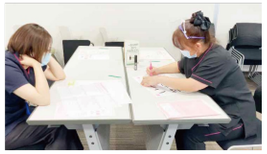
私たちは、「より良い人生を送りたい。」と願うあなたの暮らしに寄り添っていきたいと考えています。
もしものときに備えてあなた自身が希望する医療やケアについて、あなたの信頼する家族や医療者と一緒に話し合っていくことをACP｜アドバンス・ケア・プランニング（人生会議）と言います。
いままで気づかなかった自分と、ふとした瞬間につながるきっかけになるかもしれません。
稲沢市民病院では、そんな時間と空間の提供を考えています。
あなたも一緒にACP｜アドバンス・ケア・プランニング（人生会議）をはじめませんか？



余命宣告を受けたA氏と家族の時間

ひとりで余命宣告を受けたA氏。
最初は気丈にしていましたが、診察後、
ポロポロと涙を流されました。
「ずっと会えなかった兄弟に会いたい。
それまで自分はもつだろうか？」と語られました。
ACPはそこから始まりました。
ご家族は、本人が一番したいことを最優先に考え、
訪問看護ステーションに介入してもらい、
故郷に向かいました。その数日後に旅立たれ、
その後、ご家族が当院のがん相談支援センターを訪れ「道中も私たちにとって貴重な時間でした。」と報告をうけました。ご家族から見せていただいた写真や動画には、久しぶりに目の前に広がる故郷の風景を前にして、自分の足で歩き、カメラを構える姿、ご兄弟との談笑の姿、先祖の仏壇に参る姿などが写っており感慨深さを感じました。

職員、市民に向けてのワークショップ



大切にしていることをボードに書き出します。改めて聞かれると、悩む方、スラスラ書く方、人それぞれです。
そのあとに、ACPシートに記入をしてもらいます。
いざ、シートに書こうとすると色々な考えが、巡ります。
シートは何度でも後から書き直せます。

地域の医療従事者向けの勉強会の開催

3月14日に地域の医療者従事者を対象に当院のがん相談支援センター長・外科部長の伊藤医師、がん化学療法看護認定看護師の平松看護師、臨床心理士・公認心理師の梅田による『ACP 倫理研修』を開催しました。事例を通じて介入のタイミングや患者さん、家族の方との関わり方など様々な視点での学びを共有することができました。

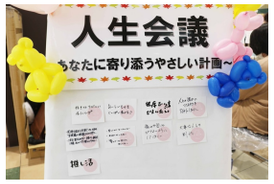
市民イベント｜病院まつり、梅まつりなど

「人生100年これからゲーム」

お一人でも、ご夫婦でも、3世代でも

このカードゲームは、52種類のカードを通してあなたの大切に思っていることを話し合います。最初は、ご自身のことを考えることに抵抗感を示していた方も、カードゲームが始まると自分の潜在的な思いに気づく方、盛り上がって「お正月におじいちゃん、おばあちゃんと一緒にやりたい。」と言われるご家族、「あなた、そんな風に思っていたのね。こうだと思っていたわ。」と夫婦間でお互いの思いに気づく方など様々。中には、色々な感情が蘇り「お父さんが意識がなくなって、どうしたらよかったのか？もっと元気なうちから話しておけばよかった。」と亡くなったご家族のことを思い出される方もいます。

あなたが大切にしていることは何ですか？例えば、「最期までおしゃれをしていたい。」「私の価値観をいつまでも尊重してほしい。」「病状について話さないでほしい。」「笑顔でリラックスして過ごしたい」など、最後に残ったカードを通じてあなたがなぜ、そのカードを残したのか、あなたの言葉で語ってください。あなた自身が、潜在的に持っていた気持ちに気づくことがあるかもしれません。ご家族やご友人の気持ちを知るきっかけにもなります。当院では、近隣の一宮市立市民病院、総合大雄会病院のがん関連認定看護師と協力して市民イベントに積極的に参加しています。また、訪問看護ステーション「あしたば」は、人生の最期を自分の安心できる空間やにおい、いつもそばにいてくれる人の中で迎えることができるようにACPや意思決定支援にも積極的に取り組んでいます。在宅療養のご利用者様にもACPを取り入れています。今後は、地域の商業施設やデイサービスなどの介護施設でも協働して地域全体で取り組みをめざしています。



＼人生100年／
これからゲーム
カードゲームで『人生を語ろう！』

市民の方を対象としたワークショップ開催します。
2024年 5月30日（木）

ワークショップのお知らせ

稲沢市民病院2階講堂
5月30日（木）14時～15時
ACPワークショップ
「人生100年これからゲーム」
を開催します。予約なしで
どなたでも参加できます。
この機会に一緒に考えて
みませんか？